



国立大学法人 福井大学附属国際原子力工学研究所

〒914-0055 福井県敦賀市鉄輪町1丁目2街区4

TEL:0770-25-0021(代表) FAX:0770-25-0031 <http://www.rine.u-fukui.ac.jp/>

2015年10月発行

## 10月4日(日)敦賀キャンパスの「一般公開」が開催されました！

10月4日(日)、研究所「一般公開&原子力安全・防災セミナー」を実施しました。日頃の活動内容を地域の方々にぜひ見ていただきたいと、敦賀キャンパスで学ぶ学生が作成した活動紹介パネルのほか、原子炉の解体計画検討のアニメーション、地震防災・建物耐震化啓発教材「ぶるる」、放射線の飛跡を見ることができる「霧箱」、地盤液化実験ポトル、原子炉模型、展示室の公開など様々な展示・説明を行いました。研究所内見学ツアーでは、研究に使用している実験装置や学生研究室などの見学を行いました。また、原子力安全・防災セミナーでは、日本原子力研究開発機構から講師をお招きし、「高速増殖原型炉もんじゅ」「原子炉廃止措置研究開発センター(ふげん)」の状況についてご講演いただきました。

駅前ふれあい市や敦賀駅前広場供用開始イベントと重なり、敦賀駅前には終日賑わい、研究所もいつになく明るい声が響いた一日となりました。



★ビッグパットによる原子炉の解体計画検討のアニメーションの説明



★原子力安全・防災セミナー



★研究所見学ツアー

## 文部科学省 平27年度 英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業 廃止措置研究・人材育成等強化プログラムに採択されました。

文部科学省の公募事業「英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業(廃止措置研究・人材育成等強化プログラム)」に福井大学が中心となり西日本の6大学2機関の連携による『福島第一原子力発電所の燃料デブリ分析・廃炉技術に関わる研究・人材育成』が採択になりました。

この事業では、現場のニーズを踏まえた「廃止措置技術」、「燃料デブリ分析」及び「廃炉技術開発」に関する基盤研究と人材育成を行います。各大学で行う研究指導に加えて、福島での実習・セミナーを全国の学生に提供し、原子力以外の幅広い分野から福島第一原子力発電所の廃止措置における課題解決に貢献できる高い知識と社会貢献意識を持った広い専門分野の若手人材を継続的に育成することを目指します。



## ～ 学外活動「福島を知る」～

9月6日から3泊4日の日程で、川内村の長崎大学拠点の協力を得て、福井大学医学部看護学科と協働し、「福島と福井をつなぐ医工連携・学生の輪」(草の根NPO等活動支援事業)という福島の今を学ぶ活動を行いました。

川内村では、福島第一原発事故当時からこれまでに、地元の方々にお話を伺いました。また、放射線測定を行い敦賀と比較をしました。双葉消防の方々からは、震災後の経験や教訓などを学びました。

次号ではこの活動に関する報告会の様子をお届けしたいと思います。



## キラリ☆Face

学生編



工学研究科  
博士前期課程2年  
**村中 侯盟くん**  
・出身地 福井市美山町  
・学んでいる内容  
原子炉全体の熱水力特性や安全解析

- ・原子力エネルギー工学を専攻した理由  
福島の問題を一日でも早く解決し、これからのエネルギー事情を支えていくため。
- ・これからこの分野を志望する学生へ一言  
福島の問題は若い世代が解決すべき課題であり、共に原子力を学び、社会に役立てていく。

# 海外からの研修生・留学生が敦賀に来了！

毎号研究所通信では海外からの研修生を紹介していますが、今月はパワーアップしてご紹介！



**Ms. Zaredah Binti Hashim**

**ザリダさん**

(マレーシア原子力炉技術センター 研究員)

- ★来日理由：**MEXT/NSRAのプログラム**
- ★好きな日本の食べ物：**天ぷらそば、敦賀の「はま寿司」に行ってみたい！**
- ★日本の印象：**日本人はとても優しく、礼儀正しいので素晴らしいと思います。**

- ★原子力を学ぼうと思った理由：**原子力工学の基礎知識を深め、マレーシアに帰国してから、ここで学んだことを同僚に広めたい。**
- ★メッセージ：**研究所で、望月先生、ローイエン先生をはじめ、素晴らしい先生方にお会いすることができました。研修プログラムに関係する全ての人に感謝しています。**



**Mr. DISSANAYAKE Herath Mudiyansele Sisira Kumara**

**シシラさん**

(スリランカ セイロン電力庁電気エンジニア)

- ★来日理由：**MEXT/NSRAのプログラム**
- ★好きな日本の食べ物：**何でも好き。シュークリームやエクレアも美味しい！**
- ★日本の印象：**日本人は困った時いつも助けてくれ、礼儀正しく、お互いを尊重し合っている。子供や女性が時間帯を気にせず自由に生活できるなど、治安がいいのも素晴らしい。**

- ★原子力を学ぼうと思った理由：**IAEAで長い間働いていた大学の指導員から、原子力発電に関することを学び、その構造やシステムがとても面白いと思った。**
- ★メッセージ：**日本で出来た友人たちと出かけたり、色んな体験をしたり毎日がとても充実している。関係する全ての人に感謝している。**



**Mr. KALIATKA Tadas**

**タダスさん**

(リトアニアエネルギー協会)

- ★来日理由：**(財)若狭湾エネルギー研究センターのプログラム**
- ★好きな日本の食べ物：**エビのお造り。リトアニアでは食べたことがない。**

- ★日本の印象：**犯罪が少なく、日本人は礼儀正しくて丁寧。**
- ★原子力を学ぼうと思った理由：**父が原子力関係で、自分は祖国ではエネルギーに関する研究をしているため。**
- ★メッセージ：**研修期間は残り4ヶ月だが、望月先生には色々な面で助けてもらい感謝している。**

## 敦賀市長を表敬訪問しました！

10月7日、外国人研修生7名が敦賀市役所を訪れ、カリアティカ・タダスさんが代表で淵上隆市長に挨拶し、同国カウナス市長のメッセージを届けました。タダスさんは、大戦中、故杉原千蔵氏がユダヤ人難民にビザを発給したカウナス市出身。7人は原子力関連の機関や大学に勤める研修生で、数ヶ月～3年程をかけ、原子力について学びます。



JST「日本・アジア青少年サイエンス交流事業(さくらサイエンスプラン)」で昨年度に研究所にも来ていた、ベトナム電力大学(現在は卒業)のMs. Hiên Lê Thu / トウさん。日本や研究所での思い出を語ってくれました！

## 日本の思い出

Hiên Lê Thu / トウさん

2014年の秋に、JST「日本・アジア青少年サイエンス交流事業(さくらサイエンスプラン)」を通じて、電力大学・原子力科の選抜メンバーとして福井大学に1週間滞在して研修を受けました。これはベトナムの学生にとって絶好の機会なので、選抜結果が届いた瞬間、胸がドキドキしてたまりませんでした。

日本に到着し周りの光景を見て驚きました。綺麗な街、便利な公共交通システム、そして自動販売機が至る所にあっという間でも手軽に買えるなど…そんな光景が母国にも有ってほしいと思いました。

日本滞在中に、世界に誇る商品を作る会社や最先端技術を持つ研究所などの色々な所の見学が出来ました。特に、福井大学附属国際原子力工学研究所にて、特別講義を受講することができ、貴重な体験をしました。ここで先生方々が熱心に教えて下さった事と、日本の学生たちとの会話で知った多くの事に、心から感謝の気持ちでいっぱいです。

1週間はあっという間に終わりましたが、これは貴重な1週間です。きっと忘れられない時間です。帰国して、日本の事をもっと知りたくなくなり、更に、幸せいっぱいな福井に必ず戻ってくると、ずっと思っています。

(日本語訳：Tran Tuan)



※ Ms. Hiên Lê Thu / トウさんは、福井大学に滞在中に知り合ったTran Tuanくん(工学部電気電子工学科の留学生で日越通訳をしてくれた)と2015/5/26にめでたく結婚されました!!